

# 大津町議会 広報編集特別委員会研修報告

氏名 村山 龍一

視察研修名：全国町村議会広報研修会

研修先：東京都渋谷区 渋谷公会堂 (LINE CUBE SHIBUYA)

期 日：令和7年8月28日(木)～29日(金)

研修テーマ：①インタビュー記事を足して読まれる広報紙にしよう  
②スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本  
③議会活性化と連動した広報紙づくり

## 研修報告 意見・感想

今回の町村議会広報研修会は、おおづまち議会だよりを作成するにあたり、非常に役に立つものでした。

今回の講師には、全国町村議会議長会が主催する第39回広報コンクールで第1位となった「たちあらい議会だより」の議会広報委員長が講演をされ、広報活動の必要性を改めて認識しました。

そして、すぐに役立つスマートフォンを活用しての撮影技術、インタビュー記事の取材や編集についての研修では、今後の広報委員会の委員としてすぐにでも活用できる内容でした。

今回の研修で非常に参考となったのが、「議会活性化と連携した広報誌づくり～住民の政治参加をうながすルーツに～」です。講師は、福岡県大刀洗町議会の議会広報委員会委員長の平山賢治氏がされ、先ず言われたのが「広報の充実は、議会活性化の一部門として行っている。」と、つまり議会が活性化するためには公報が必要ということです。特に参考となったのが、編集にあたっての留意点です。一つ目が、言語や数値はわかりやすい表現にすること。二つ目は、正確性で、そのまま書くことでなく、「正しく要約」すること。三つ目が、紙面構成で、本文を詰め込みすぎず、写真や資料のバランスを適切にすること。

次に、編集の流れについても説明があり、表紙も非常に検討されていて、よくあるご相談では、一般質問、報告会や企画編集の具体的な事例を紹介され、大津町議会でも同様な事例があり、今後の議会だよりの編集を行っていくうえで非常に参考となりました。

次に参考になったのが、映像講師・映像ディレクター・(公)日本広報協会 広報アドバイザーの渡川修一氏の「スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本」の研修でした。「撮影は基本ルールがあり、その基本ができれば撮影が正しくできる。」と説明がありました。先ず、人が登場する動画の撮影のルールを説明し、個人のスマートフォン使い撮影を行いました。次にカメラの前で話すコツについて、次が、相手に聞くとときについて、最後に編集作業の説明でした。また、具体的な事例として、埼玉県寄居町、神奈川県開成町や葉山町の議員の方々の紹介の映

像を映し出され、撮影の状況などの説明をされました。今回のスマートフォンを使った撮影技術・動画作成は非常にわかりやすく、すぐに役立つものでした。

インタビューライターの丘村奈央子氏の「インタビュー記事を足して、読まれる広報紙にしよう」では、インタビューの記事の取材や編集について非常に詳しく説明があり、議会だよりのインタビューを行っていくうえで参考になりました。